

未来を拓く日本三大開拓地

# さわやかな田園のまち やぶき

2021年 / 矢吹町勢要覧



未来を拓く日本三大開拓地  
さわやかな  
田園のまち・やぶき  
2021年◎矢吹町勢要覧



発行日●令和3年3月 発行●福島県西白河郡矢吹町  
〒969-0296 福島県西白河郡矢吹町一本木101  
tel.0248-42-2111(代表) fax.0248-42-2587  
ホームページ <http://www.town.yabuki.fukushima.jp/>  
E-mail(企画総務課) [kikakusoumu@town.yabuki.fukushima.jp](mailto:kikakusoumu@town.yabuki.fukushima.jp)  
編集●矢吹町役場企画総務課  
制作●株式会社 きょうせい 東北支社





荒れ野の矢吹が原から、  
さわやかな田園のまち

古くから奥州道中の宿場として栄え、

交通の便に恵まれた矢吹町は

現在も東北自動車道をはじめ、

国道四号、四本の主要地方道が交差する

南東北の玄関口として重要な役割を担っています。

かつて「行方野原」（ゆきかたのはら）と呼ばれた

荒れ野の矢吹が原が育てた精神は

今も新たなフロンティアを生み、

未来を拓き続けています。

福島県南部に位置する矢吹町は、

まちの面積の約半分を農地が占める

豊かな田園のまちです。

初夏には青々とした田んぼに風が渡り、

秋には辺り一面、黄金色に輝く実りで彩られます。

しかし、現在の美しい田園風景は、

容易につくられたものではありません。

そこには、先人たちの血の

にじむような開拓の日々がありました。

写真↑滝八幡三十三観音磨崖仏群



未来を拓く日本三大開拓地

さわやかな

田園のまち。

やぶき







# 人を温かく迎え入れる 心を育んだ「矢吹が原」

●奥州道中の宿場【江戸期】

往時をほうふつとさせる店構え

吹の人々。旅の疲れを癒す宿場として、もてなしの心が育まれ、その心は今も人々の中に遺伝子のように組み込まれています。そして、それは、矢吹にとつてのかけがえのない財産でもあるのです。

はるばるやってきた旅人を、あたたかく迎え入れてきた矢

旅人の疲れを癒した  
矢吹領内の宿場

和久宿・中畑新田宿と三つの宿場があり、十返舎九の戯誌『金鞋編』に、これらの宿が紹介されています。矢吹宿は「大根いりそばきり」が名物で、さらにこのそばよりも女中の器量の良さが評判とされています。大和久宿では麦をつく婦人のそばで鶏が餌をついばんでいる宿場の情緒が描かれ、中畑新田宿では、茶屋で出会った年寄りとの楽しい交流の様子が描かれています。

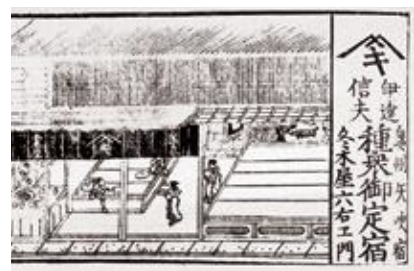
**矢** 吹の領内には、矢吹宿・大和久宿・中畑新田宿と三つの宿場があり、十返舎九の戯誌『金鞋編』に、これらの宿が紹介されています。矢吹宿は「大根いりそばきり」が名物で、さらにこのそばよりも女中の器量の良さが評判とされています。大和久宿では麦をつく婦人のそばで鶏が餌をついばんでいる宿場の情緒が描かれ、中畑新田宿では、茶屋で出会った年寄りとの楽しい交流の様子が描かれています。



館跡の参道に残る石仏



大正ロマン漂洋館



矢吹宿旅籠冬木屋六右衛門(文政年間)



宮内省御猟場の廃止後に設置された矢吹国営猟区事務所(大正14年)



公衆館を埋め尽くす観衆の目は、皆生き生きと輝いている



宮内省御猟場を管理していた看守たち

## 御猟場から公衆館へ 楽しむ心は一般へ

ごく、握りの特権階級の人々から、広く一般の人へと浸透していった暮らしを、楽しむ豊かな心、そしてゆとり。矢吹が原は暮らしを楽しむ人々の豊かな心を育んだ「ゆりかご」としての役割を担ったのでした。

運動の高まりとともに、特権階級の象徴でもあった岩瀬御猟場は廃止されます。その動きに呼応するかのよう、大正十年(一九二一)、合名会社「公衆館」が誕生しました。公衆館は、芝居や活動写真などを興行する芝居小屋として広く一般に親しまれました。ごく、握りの特権階級の人々から、広く一般の人へと浸透していった暮らしを、楽しむ豊かな心、そしてゆとり。矢吹が原は暮らしを楽しむ人々の豊かな心を育んだ「ゆりかご」としての役割を担ったのでした。

**明** 治二十四年(一九一三)十月、広大な「岩瀬御猟場」が誕生しました。御猟場とは、皇族をはじめ、政府高官や外国政府の要人など、国内外の名士たちが猟を楽しむために設けた場所でした。やがて自由民権運動の高まりとともに、特権階級の象徴でもあった岩瀬御猟場は廃止されます。その動きに呼応するかのよう、大正十年(一九二一)、合名会社「公衆館」が誕生しました。公衆館は、芝居や活動写真などを興行する芝居小屋として広く一般に親しまれました。

多くの獲物が、この地の豊かさを物語っている



## 暮らしを楽しむ豊かな心を 育んだ「矢吹が原」

●岩瀬御猟場開設【明治24年】



Epochal History  
母なる大地の軌跡をたどる

# 「矢吹が原」物語

古くは「行方野原」と呼ばれ、赤松やススキの生い茂る人を寄せつけない原野だった矢吹が原は、今日、豊稔の恵みをもたらしてくれる美田へと変わりました。しかし、その歴史は決して楽な道のりではなく、国営による開墾事業や悲願の羽鳥ダムの完成など矢吹が原開拓に心血を注いできた人々の壮絶な物語がありました。







人材を育てる 矢吹を好きになる 風景を残し守る

## 第6次矢吹町まちづくり総合計画

まちづくり総合計画は、町の目指すべき方向や各分野における指針を示したもの。  
平成28年度より「第6次矢吹町まちづくり総合計画」がスタート。  
行政・町民・議会が一体となったまちづくりを目指しています。

### 施策の現況



4カ月児健診

●健康の保持増進と重症化予防により町民の健康づくりを推進します。重症化予防対象者には個別に関わり、生活習慣を見直し行動変容を促します。ま

## 「人」

住む人みんなが健康で輝き、  
幸せを実感できるあたためまちづくり

た、必要に応じ専門医を紹介し受診勧奨を促します。

●町民活動の「場」の提供を行い、活動の支援を行うほか、さらなる民間活力の導入を図り、複合施設を中心に、住民サービスの向上を目指した生涯学習基盤の充実を図ります。

●スポーツに親しみやすい環境を整備するとともに、日頃の練習の成果を競い合い、友情の輪を広げ、地域住民とのふれあいを大切にするスポーツのまちづくりに取り組みます。



「ヘルスアップ教室」で汗を流す町民たち



大型トラクターが導入され開墾は急ピッチで進んだ(戦後)

羽鳥ダムが完成し、  
広大な荒れ野はようやく豊かな実りをもたらす沃土へとかわりました。  
幾多の困難を乗り越えてきた矢吹が原の開墾事業は、時代を切り拓く新しい矢吹の人々の精神をも育んできたと言えます。

## 時代を切り拓く新しい心を育んだ「矢吹が原」

●国営矢吹が原開墾事業[明治初頭]

### 広大な荒れ野に実りをもたらす

のことでした。昭和十五年(一九四〇)、矢吹原国営開墾予算案が衆議院で可決され、国営開墾事業が始まりますが、その直後に太平洋戦争が勃発。日本は戦争に敗れ、事業は中断を余儀なくされました。しかし、今度は戦後の食糧増産により、灌漑用ダム早期築造の声が急速に高まりを見せ、昭和三十一年(一九五六)、

**矢** 吹が原の本格的な開墾は明治時代から始まります。しかし、用水の不足などからなかなか進まず、事業が具体化したのは昭和九年(一九三四)



入植者の住まい



掘り起こされた大きな松の根が、開墾の困難さを如実に物語っている



昭和5年頃から農村恐慌に備えて各地につくられた「恩賜郷倉」



「矢吹ふるさと塾」の尽力によって建立された「矢吹飛行場跡記念碑」(平成5年3月)



5万人もの見物人が集まった愛国福島号の着陸風景(昭和7年9月18日)



熊谷陸軍飛行学校矢吹分校開場(昭和12年5月23日)

### 激動の飛行場から新たな時代の創造へ

が幕を開けました。幾多の時代の変化にも柔軟に対応してきた矢吹町。その柔軟な人々の心を矢吹が原は育み、そして今も優しく見守っています。

**日** 中戦争が開戦した昭和十二年(一九三七)、陸軍飛行場として矢吹飛行場が開場しました。戦火が一層激しさを増す中、ここから飛び立った幾多の命が散っていききました。戦況が悪化し、本土空襲が激化すると、飛行場は攻撃目標として爆撃を受けました。矢吹飛行場も例に漏れず、度々爆撃を受け飛行場としての機能を失ってしまいました。そして、昭和二十年八月十五日の終戦とともに、矢吹飛行場は短い生涯に幕を閉じました。  
平成五年(一九九三)、福島空港が開港。新たな空の時代が幕を開けました。幾多の時代の変化にも柔軟に対応してきた矢吹町。その柔軟な人々の心を矢吹が原は育み、そして今も優しく見守っています。

命名式と披露のためやってきた海軍機報国福島号(昭和9年10月28日)

## 変化に対応する柔軟な心を育んだ「矢吹が原」

●陸軍飛行場開場[昭和12年]





# 「支えあい」

豊かな自然環境、  
みんなが支え合い助け合うまちづくり

●リサイクルの推進や再生エネルギーの推進、自然環境の保全、動物の愛護などを図り、自然の恵みを保全・活用できる町を目指します。

●第4次矢吹町障がい者計画、第6期矢吹町障がい福祉計画、第2期矢吹町障がい児福祉計画に基づき、長期的な視野に立つて「地域で共に支え合い、自分らしく安心して生活できるまちづくり」を目指します。また、障害者基本法に規定される基本原則に則り、障がい者の自立及び社会参加の支援のための施策を総合的かつ計画的に実施します。

●高齢者の生きがいと健康づくりを目的として昔遊びや伝統行事、老人クラブ事業及び、各地区サロンを実施し、活動の支援を行うことにより社会活動への参加を推進します。



クリーン作戦



ひとり暮らし高齢者のつどい「みんな元気会」



矢吹町社会福祉協議会のデイサービス送迎

# 「子ども」

未来の矢吹を担う子どもたちが  
心豊かに学び成長するまちづくり

●妊娠婦への産前産後の心と体のサポート体制や、子どもの健全やかな成長のために、経済的負担の軽減も含めた支援体制の充実を図ります。また、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚・妊娠・出産・育児の各ライフステージを通じた切れ目のない支援を行います。

●高い保育ニーズと保育の潜在需要に因應するため、幼稚園・保育



「KOKOTTO」親子でリトミック

園の充実や民間委託について検討を行うとともに不安なく子どもを預けられる、生き生きと働ける環境を整備します。

●心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向けて、知識、理解、技能や思考力、判断力、表現力、学習意欲等の確かな学力を身につけ、将来社会の発展に主体的に参加できるよう、魅力ある教育推進に取り組んでいきます。



中畑小学校運動会

# 「仕事」

働く全ての人がやりがいを持ち、  
経済的に自立できるまちづくり

●企業誘致による働く場の確保や、地場産業の地域ブランド化を推進するほか、町内事業者への有利な融資制度の紹介など経営支援を実施します。

●新規就農者や認定農業者の支援、確保に努めるほか、新たな担い手として、集落営農や農業法人の育成、支援を行います。また、関係機関との連携をさらに強化し、農地の集積を推進します。



地域ブランド「開拓のうた」



三鷹市連雀コミュニティまつりで矢吹の新鮮野菜をPR



矢吹町の恵まれた交通網

人材を育てる  
矢吹を好きになる  
風景を残し守る

## 施策の現況

# 「くらし」

みんなが安全・安心、  
誰もが暮らしやすく快適なまちづくり

●各種団体と協力し安全安心なまちづくり啓発活動を実施していきます。特に消防団の団員確保、装備の充実が計画的に進めていきます。また、整備された情報伝達システムにより迅速な情報伝達を行います。

●矢吹町に暮らす人が気持ちよく便利に暮らせるよう、協働のまちづくりを推進し、居住環境整備に取り組みます。

●地域の景観形成や、公園づくりの活動を発信している団体の活動状況を発信することで、企業や行政区などに広く参加を呼びかけ、町全体で景観・公園づくりを推進します。



中町第一公営住宅



火災防衛訓練



# 「人口減少対策」

矢吹に受け継がれる開拓精神で、  
みんなが将来に希望を持てるまちづくりを推進します。

●人口減少を克服するために、若い世代が安心して就労、出産、子育てができるような社会経済環境の実現を目指します。また、地域が直面する課題を解決し、地域において安全・安心で心豊かな生活が将来にわたって確保されるまちづくりを推進します。

として位置づけ、公共交通推進事業、(仮称)新田園都市構想事業、企業誘致促進事業、待機児童解消加速化事業、学校給食運営事業に取り組み人口減少対策を推進します。



企業誘致促進事業



待機児童解消加速化事業



(仮称)新田園都市構想事業



公共交通推進事業



学校給食運営事業

人材を育てる  
矢吹を好きになる  
風景を残し守る

施策の現況

# 「計画実現のために」

協働のまちづくりと  
計画に沿った行政運営を推進

●地域を形作る住民のつながりや支え合う環境づくりを構築する一方、地域の役割を明確化し、行政と地域住民が互いの役割と責任を確認することで、尊重し

ながら協力する協働のまちづくりを推進します。

●第6次行財政改革大綱及び実行計画に基づき、安定した行財政運営を行うとともに、職員の意欲と能力を最大限に引き出し、組織の活性化を図るための戦略的な人材育成を目指します。

●町民が気持ちよくサービスを受けられるよう、全町的に行政サービスの向上に務めるとともに、情報化社会に対応したサービスやワンストップサービスを推進します。



「行政区活動支援事業」花いっぱい事業



花の里やぶき桃源郷づくり植樹

# 安全・安心に暮らせるまちづくり

震災以前より活力のあるまちを目指し、安全・安心なまちづくりを進めるために、町は復興に向けた取り組みをしています。



第二区東自治会館

第一区自治会館

大小10個の部屋にそれぞれ方形屋根が架かった特徴ある建物。町内で初めて福祉避難所機能をもった施設。



災害公営住宅

中畑災害公営住宅、中町第一災害公営住宅・中町第二災害公営住宅・中町第三災害公営住宅。4ヶ所に52世帯入居可能。



新町集会所

東日本大震災により平成25年、26年にそれぞれ建替。大小会議室、調理室、多目的トイレ、備品庫等を配置。災害時には避難場所として活用され備蓄倉庫も完備。



災害備蓄倉庫

災害時の初動対応及び避難所運営等に必要資機材を保管。災害時応援協定締結市町村等への応援物資としても活用。



## 震災からの主な経過

〔平成23年〕

- 3月
  - 東北地方太平洋沖地震発生 矢吹町震度6弱
  - 矢吹町災害対策本部設置
  - 全地域断水により給水所設置(役場)
  - 町避難所設置
  - 県避難所設置(農業短期大学校)
  - 町避難所の集約(矢吹中学校体育館)
  - あゆり温泉無料開放
- 4月
  - 震災復旧工事のためあゆり温泉休館
  - 災害復旧工事のためあゆり温泉休館
  - 被災者を対象に公営住宅等への入居開始
  - 東北新幹線(那須塩原〜福島)運行再開
  - JR東北本線(安積永盛〜黒磯)運行再開
  - 町内水道100%復旧
  - 仮設住宅入居開始
  - (二本木・善郷内・大町)
  - 各公園(12箇所)で空中放射線量測定開始
- 6月
  - 「矢吹町災害対策本部」から線量測定開始
- 7月
  - 「矢吹町復興対策本部」から「矢吹町復興対策本部」へ移行
- 10月
  - やぶき復興祭開催
- 11月
  - 温水プール営業再開
  - あゆり温泉営業再開
- 12月
  - 「矢吹町復興ビジョン」策定

〔平成24年〕

- 1月
  - 「矢吹町放射能測定センター」稼動
- 2月
  - 「矢吹町中心市街地復興協議会」設立
- 3月
  - 「矢吹町復興計画」策定
- 7月
  - 「矢吹町除染実施計画」策定
- 9月
  - 東京大学生産技術研究所と「震災復旧及び復興に向けた連携・協力に関する覚書」を締結
  - 米の全袋検査開始



温水プール



あゆり温泉





**大池公園**  
池と町木のアカマツの生い茂る自然空間を活かした憩いの場。周囲には「福島県の遊歩道100選」に選ばれた遊歩道があり、森林浴ウォーキングが楽しめる。  
☎矢吹町大池243-2 ☎0248-42-2116(都市整備課)



**ふるさとの森芸術村**  
県内で唯一、森と共生するアートビレッジとして平成2年にオープン。町内外の芸術愛好者の活動の拠点・発表の場。  
☎矢吹町大池243-2 ☎0248-42-4506



**複合施設KOKOTTO**  
「集い・学び・遊び・育む・フロンティア広場」をコンセプトに、公民館・図書館・子育て世代活動支援・観光交流の機能をもつ複合施設。  
☎矢吹町本町165  
☎中央公民館 0248-42-2829  
☎図書館 0248-44-3595  
☎未来くるステーション 0248-21-5410



**大正ロマンの館**  
大正9年建造。東日本大震災後、平成28年にリニューアルオープン。館内は、1階はカフェ、2階は学習スペースとして利用できる。  
☎矢吹町本町161-7 ☎0248-21-8883



**やぶき観光案内所**  
JR矢吹駅1階のコミュニティプラザホールに設置。町の観光情報や特産品情報を発信し町内企業の製品展示や各種イベントなども行う。  
☎矢吹町中町235-4 ☎0248-21-7800



**温水プール**  
町民の健康増進と体力の向上を目的に平成5年10月にオープン。水中歩行レーンや幼児用プールの他に、ゆったりの多目的ルームやトレーニングルーム、更にはプールバスも併設。  
☎矢吹町八幡町441 ☎0248-44-5050



**あゆり温泉**  
平成3年6月にオープンした日帰りの天然温泉施設。豊富な湯量が自慢の100%かけ流して、フレッシュな天然の温泉を大浴場で楽しむことができる。  
☎矢吹町八幡町442 ☎0248-42-2615



**三十三観音史跡公園**  
町指定文化財。断崖に40～60センチメートルの仏像群が彫刻されている。歴史や自然を満喫できる。  
☎矢吹町滝八幡112-1 ☎0248-42-2116(都市整備課)



矢吹町では、町内外から人々が集まれる魅力あるまちづくりを目指しています。日本三大開拓地として歴史があり、広大な美田を有する矢吹町には、見る・遊ぶ・体験する観光スポットがたくさんあります。

# 活気あふれる 矢吹の実現



やぶきじじū (矢吹町キャラクター)



**矢吹中学校**  
平成25年完成。デザイン、機能性が評価され、第32回福島県建築文化賞を受賞。体育館は東日本大震災直前に完成し、避難所としても活用された。安全・安心で快適な矢吹中学校は、矢吹町復興の証。



**未来くるやぶき**  
「遊びを通じた子育て」をコンセプトに、子どもたちの運動を通して健全な発育を目的として平成27年にオープン。屋内遊具やフットサルコートも完備。親子で楽しめる遊び場。  
☎矢吹町小松14 ☎0248-21-8722



- 【平成25年】
  - 3月 ・「新町集会所」完成
  - 10月 ・矢吹中学校総合落成式典
- 【平成26年】
  - 1月 ・南会津郡と西白河郡災害時相互応援協定締結
  - 3月 ・豊田市と災害時相互応援協定締結
  - 7月 ・「第一区東自治会館」完成
- 【平成27年】
  - 3月 ・未来くるやぶきオープン
  - ・災害備蓄倉庫完成
  - 6月 ・「やぶき観光案内所」オープン
  - 8月 ・中畑災害公営住宅完成
  - 12月 ・中畑清氏「名誉町民第1号」
- 【平成28年】
  - 1月 ・中町第一災害公営住宅完成
  - 4月 ・中町第二災害公営住宅完成
  - 6月 ・中町第三災害公営住宅完成
  - 8月 ・「第一区自治会館」完成
  - 9月 ・やぶきフロンティア祭り開催
  - ・矢吹小学校大規模改修事業完了
  - 11月 ・「大正ロマンの館」リニューアル
  - 12月 ・千葉麻美氏「町民栄誉章」受章
- 【平成30年】
  - 4月 ・「中町ポケットパーク」オープン
- 【令和元年】
  - 8月 ・「矢吹泉崎バスストップ」供用開始
- 【令和2年】
  - 1月 ・蛭田泰昭町長就任
  - 10月 ・「矢吹町複合施設KOKOTTO」プレオープン



矢吹泉崎バスストップ



中町ポケットパーク



名誉町民第1号 中畑 清氏





### 町章

●昭和43年5月1日制定  
矢吹の「矢」を圖案化したもので、  
原因は仲西保蔵氏の考案による。



### シンボルマーク

●平成14年7月7日制定  
矢吹町の「や」で、シュンランを  
人物(手を広げ歩む)に見立て、  
オレンジとピンクは豊かさを表現、  
そして飛躍・発展をイメージ。  
図案は田村勝氏(岩手県)による。

### 町の花・木

●昭和49年7月26日制定



**シュンラン【春蘭】**  
野生のほか、観賞用としても  
栽培される常緑の多年草。早  
春に薄黄緑の花を咲かせる。



**アカマツ【赤松】**  
樹皮は赤褐色、葉は二針葉  
の常緑高木。高さ35m、直径  
1mを越すものもある。

### 町民憲章

●昭和58年11月3日制定

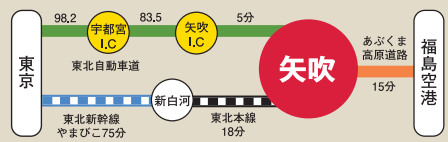
わたくしたちは、自治をになう町民としての自覚にたち、  
先人のひらいた郷土を愛し、活力に満ちたさわやかな  
田園都市づくりをもとめて、この町民憲章を定めます。

1. 勤労にいそしみ、創意をいかし、  
力あふれる豊かなまちをつくります。
1. 手をつなぎ、心ふれあう  
安らぎのあるまちをつくります。
1. 健全な人づくりをめざし、  
希望にみちた明るいまちをつくります。
1. 自然を愛し、調和のとれた  
さわやかなまちをつくります。
1. 歴史を大切にし、ふくよかな  
文化の香り高いまちをつくります。

### 町の位置・地勢



矢吹町は福島県の南部、北緯37.12東経140.20に位置しています。  
町の総面積は60.40平方キロメートルで、ほとんどがなだらかな地  
形をしています。三方を阿武隈川、隈戸川、泉川が流れ、羽鳥ダム  
の水を利用した農地が町の面積の約半分を占めています。空港・高  
速道路・鉄道の交通体系に恵まれているほか、町内を国道4号が通  
り、主要地方道四本が集結するなど、南東北の玄関口として、産業・流  
通ともに重要な役割を担っています。特に東北自動車道～福島空  
港～磐越自動車道を結ぶ高速交通ネットワーク「あぶくま高原道  
路」の開通により、各地域へのアクセスが充実しています。



【高速道路】東北自動車道の矢吹ICまで5分。  
東京へ、2時間30分で結びます。

【新幹線】東北新幹線の新白河駅まで、東北本線で18分。  
東京へ、1時間30分で結びます。

【航空機】福島空港へ車で15分。全国へ結びます。

表紙写真：大池公園

# 未来を拓く 日本三大開拓地 さわやかな田園のまち・やぶき

## Mayor's Message

矢吹町長

蛭田 泰昭



矢吹町は日本の三大開拓地の1つとして、町の面積の約半分を農地が占め、  
初夏には青々とした田んぼに風が渡り、秋には辺り一面、黄金色に輝く実りで彩  
られる豊かな田園のまちです。

また、一方で、高速道路や新幹線、飛行場等への交通アクセスに恵まれた町  
でもあります。

矢吹町の特徴を最大限に活かし、魅力あるまちづくりを行うために、「未来を拓  
く日本三大開拓地さわやかな田園のまち・やぶき」を将来像に掲げ、平成28年度  
からの8年間で「第6次矢吹町まちづくり総合計画」の計画期間と位置づけ、まち  
づくりに取り組んでまいりました。

令和2年度には、後期にあたる4年間について、「第6次矢吹町まちづくり総合  
計画後期基本計画」を策定し、16の政策、34の施策、175の事務事業を7つの  
分野に分類するとともに、将来像実現のために5つの重点プロジェクトを定め、子  
育て支援の充実や企業誘致、雇用の確保、高齢者の交通手段の確保、財政  
基盤の強化等に取り組むことといたしました。

人口減少問題をはじめ、近年の異常気象等により頻発する大規模災害、及  
び新型コロナウイルス感染症への対応等、地方の状況は厳しさを増すことが予  
想されますが、今後も町民の皆様の声と目線を大切に、笑顔が溢れる豊かなまち  
づくりを目指すとともに、地域経済の総量と町民所得を拡大し、持続可能なまち  
づくり、そして住民福祉の向上に努めてまいります。

そのためにも、町の将来像である「未来を拓く日本三大開拓地さわやかな田園  
のまち・やぶき」の実現を目指し、「町民」、「議会」、「行政」が一体となったまちづ  
くりを進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 矢吹町と共に輝く人



矢吹町名誉町民  
中畑 清氏

当町出身。元読売巨人軍の中心選手。大舞台に強い「絶好調男」という愛称で多くのファンを魅了。  
平成24年からの4年間は、横浜DeNAベイスターズ監督としてチームを指揮し、若手選手の育成及び  
ファンの拡大に力を発揮。当町で毎年開催している「中畑清旗争奪ソフトボール大会」は、県内最大級。



### 中畑清旗争奪ソフトボール大会

毎年矢吹球場等で開  
催。県内各地からスポー  
ツ少年団や中学生の  
チームが参加。熱戦が繰  
り広げられる。



### 真夏の夜の鼓動

7月下旬に大池公園水  
上ステージで開催。夕  
方にはイベントのメイ  
ンとなる太鼓の演奏が  
披露され打ち上げ花火  
が夜空を彩る。

熱い心が躍動する  
矢吹のイベント。  
毎年、町内各地でイベントが開催され、  
大勢の人々が賑わいをみせます。  
熱気と歓喜あふれる  
矢吹のイベントをご覧ください。



### 矢吹の秋祭り

隔年で10月上旬に町中  
心部で開催。クライマ  
ックスでは華やかで勇  
壮な「山車」や「大屋  
台」が共演。



### さわやか健康マラソン大会

10月上旬に開催され、  
自然豊かな矢吹町を満  
喫できる。町内外から  
距離や年齢等の部門に  
分かれて参加可能。



### やぶきフロンティア祭り

9月上旬頃に役場・文化  
センター駐車場で開催。  
町内最大のイベントで、  
本町の魅力を発信する。  
多くのブースが立ち並  
び、町内外の各団体がパ  
フォーマンスを披露。